

ウルトラフォイル 性能

厚さ	5/16" (7.93mm)
重さ	350g / m ²
使用温度範囲	マイナス 51℃ から 82℃
水分浸透率	0
引っ張り強度	平均 3.7N/mm
押し強度	1 平方インチあたり 60 ポンド
カビ、バクテリア発生率	0
熱反射率	97%

ウルトラフォイルを使用する事により総合的なR値は、増加しますが建物の構造、施工場所、施工方法によってR値は、変化します。詳しくは、代理店・販売店までお問い合わせください。

ULTRAフォイル

省エネ時代の断熱材、97%の輻射熱をカット



ULTRAフォイル

省エネ時代の断熱材、97%の輻射熱をカット



ULTRAフォイルの厚みは8mmですが、アルミフォイル2層、バブル空気2層、強度のあるポリエチレン3層の7層で形成されています。

有限会社アイリケン

〒710-0003
岡山県倉敷市平田628-2
TEL: 086-427-5727
FAX: 086-427-5753
e-mail: info@iriken.jp
http://iriken.jp

販売店

日本総代理店：(有) アイリケン



ウルトラフォイルは、輻射熱をブロックします

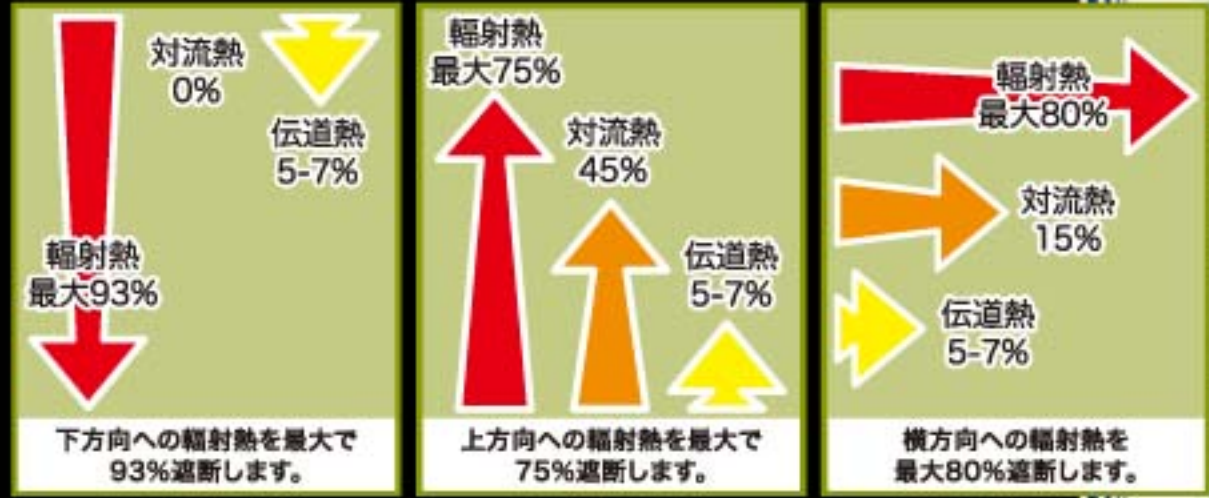
熱移動の75%は輻射熱ということをご存知でしょうか？

熱移動の3原則

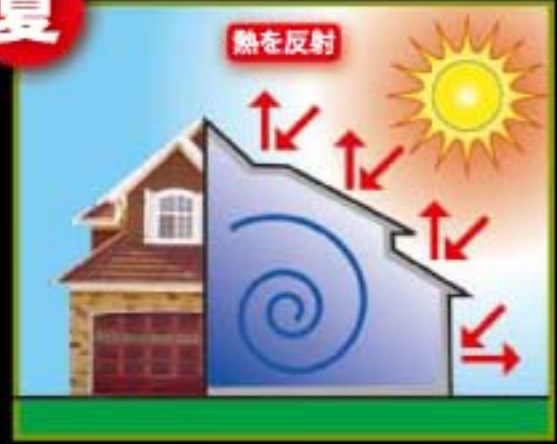
Conduction (伝導熱)とは物と物が接することによって伝わる熱。
 たとえば床暖房で足が暖かいと感じる熱が伝導熱です。

Convection (対流熱)は空気の対流による熱移動で、1つは自然の熱対流。
 暖かい空気は上へ、冷たい空気は下へ移動します。
 2つ目は強制的に空気を移動させる。(扇風機などを使用した場合です。)

Radiation (輻射熱)は太陽、ストーブ、暖房器具等の熱源からの直接輻射熱。
 熱の移動の75%はこの輻射熱になります。
 ウルトラフォイルは、この輻射熱を97%反射します。



夏



ウルトラフォイルは、夏の強い日差(輻射熱)を97%反射し冷房エネルギーの節約に貢献します。

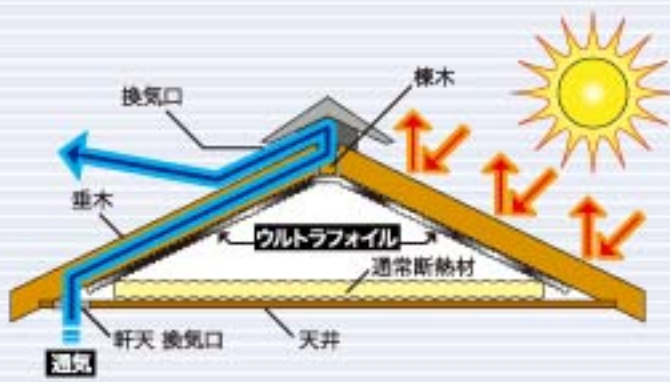
冬



ウルトラフォイルは、屋内の暖房熱が屋外に逃げる事を極力押さえる為、暖房費の節約に貢献します。

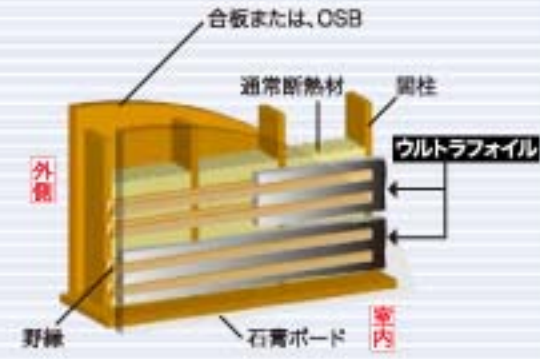
屋根裏

夏の強い日差しは、屋根を温め屋根裏の温度を上昇させます。
 ウルトラフォイルを使用する事により屋根裏の温度上昇を極力防ぐ事ができます。



壁

内壁と外壁間にウルトラフォイルを施工する場合、通常断熱材と併用し、静止空気層を設ける事をメーカーは推奨しています。



この施工方法はカナダの建築基準法で認められています。

ここでご紹介しました施工例は、1つの例で他の施工方法も可能です。
 詳しくは、代理店・販売店までお問い合わせください。

外壁

外壁材の下にウルトラフォイルを施工する場合には、継ぎ目に20mmの隙間を開け、壁内部の湿気を逃せる様にする。

